

eラーニングコンテンツの開発 で教育環境の整備に努める

「学びの平等化」をコンセプトに独自のeラーニング教材を制作している。一家揃ってリーズナブルに教育が受けられる定額制の主力サービス「フォルスクラブ」に加えて、幅広い世代を対象にした無償の新コンテンツを投入した。また、キャリア塾の開校やアジアでの教育アプリの販売も手掛けるなど、教育環境の整備に取り組んでいる。

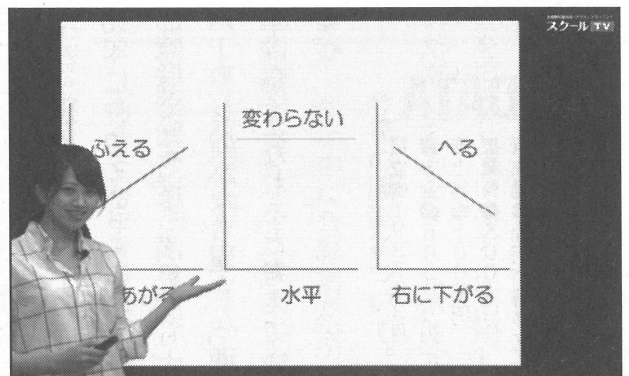
「僕の好きな言葉は、水道哲学です。良質で安価な教育サービスを提供することで、人材の育成に寄与したいですね」

イー・ラーニング研究所の吉田智雄社長はこのように説明する。教材メーカーを営む後輩が手掛けたCD-ROM教材に可能性を感じ、2002年に同社を設立。当初は教材費が100万円と高額だったため、ITを活用した安価な教育サービスを普及させようと決意した。

同社の手掛ける主力サービスは、学習システム「フォルスクラブ」だ。小中高生向けはもちろん、幼児向けや英会話、手話など幅広い世代が気軽に活用できる29講座をラインアップ。スタンダードプランは入会金1万円、月額利用料金6千円(共に税抜き)を支払うと、家族5人までがサービスを利用できる仕組みだ。

「フォルスクラブ」は教育熱の高い北陸地方から人気に火が付き、累計登録件数は10万人以上に達している。安定した利用料収入を拡大させることで、昨年9月期の売上高は約50億円を計上した。

だが、吉田社長はこの実績に甘んじてはいない。「良質で安価な教育を広めるためには市場の急速な拡大が必要」と語る。そこで全国の小中学校の教科書に対応した学習コンテンツ「スクールTV」を開発。アウトプットを重視した能動的な学習方法「アクティブラーニング」を取り入れた。また、無償でサービスを提供、その後はオプション機能に課金を行うフリーミアムモデルを採用する予定。ほかにも、行政書士や社会保険労務士といった国家資格に対応した社会人向けスマホアプリも無料で提供する。



「スクールTV」利用画面

無料を武器にして利用者を掘り起こし、「フォルスクラブ」に並ぶ第2の柱として育てる。加えて、子どもたちの夢や目標実現を支援する「子ども未来キャリア塾」の開校や、アジアにおける教育ゲームアプリの拡販など、新規事業を次々育てている。

「教育に重要なものは、遺伝よりもしっかりとった環境を整えること。そのために僕ができることはまだまだあると思います」

K

<http://e-ll.co.jp/>